

優秀賞

本村小学校

表彰理由

本村小学校では、生き物や植物の観察を通して季節の移り変わりを体感し、環境保全に対する興味や関心を育むため、「ビオトープで生き物観察をしよう！」をテーマにビオトープでの活動を展開しました。ビオトープを活性化させるために取り入れる生き物や植物について児童が話し合い、メダカの放流や植栽を行いました。児童がビオトープに自らの手で変化をもたらしたことは興味や関心を高めるきっかけとなりました。さらに、ビオトープの名前を全校アンケートで決定したほか、環境新聞の作成・掲示など全校児童が携わる機会を多く設けました。このように、児童一人ひとりが環境保全に向けて当事者意識を持ち、関心を持って活動を行えるよう多くの工夫を凝らして活動を展開した点が高く評価できます。

3Rでは、昨年度からの取組を継続し、「給食フードロス削減」「令和4年度の5%減」「コンポスト『一日バケツ1杯分の野菜くず削減』」の3つをテーマに取り組みました。フードロス削減に向けて食材の切り方による味の違いに着目して給食の紹介を行うなど、児童だけでなく、調理員など学校一丸となって共通の目標に向けて取組を行った点が高く評価できます。

特徴的な取組

■ コンポストを利用した野菜くずの再利用 (継続)

給食室から出る野菜くずのうち1日バケツ4杯分の量をコンポストで肥料に変える活動を通年で行っています。作成した肥料は、草花の栽培に活用しています。児童は見た目やにおい、重さなどが日々変わっていくことにやりがいを感じながら継続して活動を行いました。

■ 給食フードロス削減 (継続)

苦手な給食とその理由のアンケートを行いました。最も苦手な給食に選ばれたサラダが出される日には好きなトッピングを選ぶ取組を実施しました。また、学芸会とのコラボ給食を実施し、各学年の演目内容と絡めた給食メニューの紹介を行い、児童の食事への意欲を高め、残菜を減らすことにつながりました。

▼残菜を利用したコンポスト



▼サラダへのトッピング

